

西之島の火山活動解説資料

気 象 庁 地 震 火 山 部
火山監視・情報センター

< 火口周辺警報（入山危険）が継続 >

西之島では噴火活動が継続していますので、新たに形成された陸地、西之島旧島及びそれらの付近の海域（島の中心から概ね 6 km 以内の範囲）では噴火に警戒してください。

本日（11 日）14 時 00 分に火口周辺警報（入山危険）を切替えました。

○ 活動概況及び防災上の警戒事項

西之島では、海上保安庁などの観測によると、噴火及び溶岩の流出が継続し、新たに形成された陸地が拡大しているのが確認されています。

今後も、新たに形成された陸地にある火口で噴火活動が継続すると考えられます。また、今後の火山活動の変化に伴い、西之島周辺の海底で噴火が発生する可能性も引き続き考えられます。水深 500m 以浅の海底で噴火が発生した場合、影響が海上まで及ぶおそれがあります。海上まで噴火による影響が及んだ場合、弾道を描いて飛散する大きな噴石や水面を高速で広がるベースサージ等の影響が概ね 2 km の範囲に及ぶおそれがあります（図 1）。

これまでも周辺の海域を含めた範囲での警戒を呼びかけていましたが、今後も噴火活動が継続する可能性が高いことから、新たに形成された陸地を含む西之島の中心から概ね 6 km 以内の範囲（水深 500m 以浅の海域から約 2 km の範囲を包含する範囲（図 2））で警戒すべきことを具体的に呼びかけるため、本日（11 日）14 時 00 分に火口周辺警報（入山危険）と火山現象に関する海上警報を発表（切替）しました。

新たに形成された陸地、西之島旧島及びそれらの付近の海域（島の中心から概ね 6 km 以内の範囲）では引き続き噴火に警戒してください。また、周辺海域では浮遊物に注意してください。

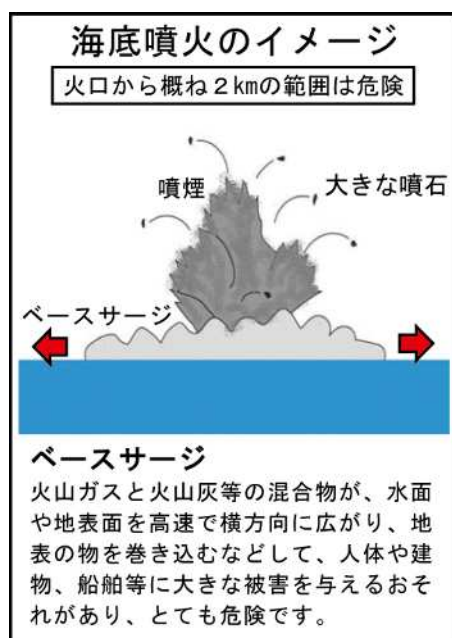


図 1 海底噴火による影響のイメージ

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 23 情使、第 467 号）。

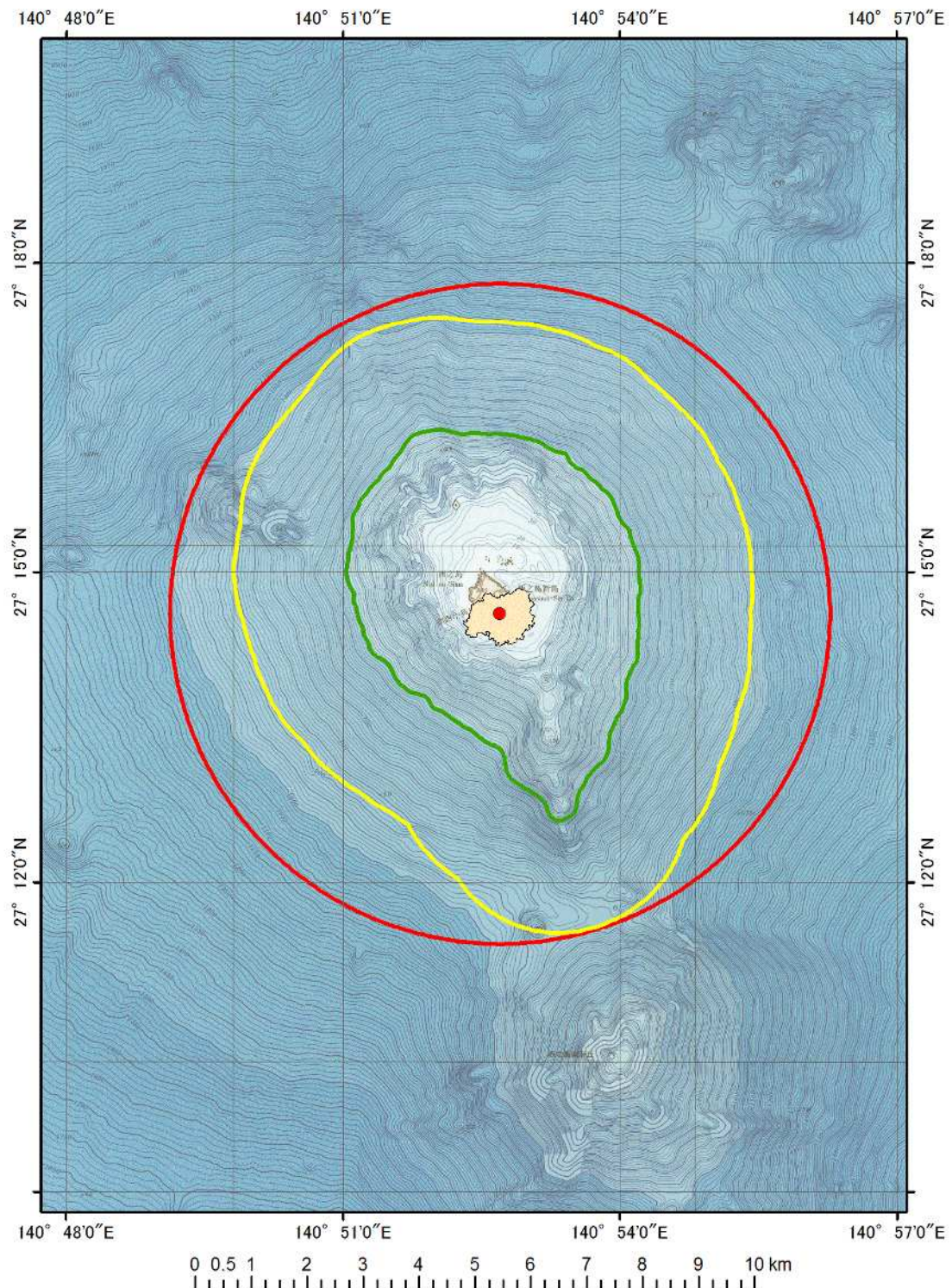


図2 警戒が必要な範囲（西之島の中心から概ね 6 km 以内の範囲）
（海上保安庁提供図に加筆）

緑線：水深 500m
黄線：水深 500m 以浅から概ね 2 km の範囲
赤丸：島の中心から概ね 6 km の範囲



図3 伊豆・小笠原諸島の活火山分布、及び西之島の位置図
西之島は、東京の南約 1000km、父島の西約 130km に位置します。